

『体系的・網羅的 一冊で学ぶ日本の歴史』(初版・二刷) 正誤表

2014/07/07現在

以下の通り、表記に誤りがありました。誠に申し訳ございません。訂正してお詫び申し上げます。

※「該当箇所」は見出し行も含めます。

刷	ページ	該当箇所	【誤】	【正】
初	p. 19	左11行目	藤原四氏	藤原四子
初	p. 19	左下から6行目	藤原頼道	藤原頼通
初	p. 20	2行目	原生代→始生代	始生代→原生代
初	p. 21	1行目	前期(200万～20万年前)、中期(20万～4万年前)、後期(4万年～1万年前)	前期(20万年前より以前)、中期(8万年～3万5000年前)、後期(4万年～1万2000年前)
初	p. 29	7行目	上下左右の犬歯を抜く	犬歯や門歯を抜く
初	p. 33	下から3行目	箱式石棺	箱式石棺墓(はこしきせっかんぼ)
初	p. 36	下から6行目	景初2(239)年	景初3(239)年
初	p. 37	2行目	大人(だいじん)	大人(たいじん)
初	p. 39	下から4行目	高さ6.2m	高さ約6.34m
初	p. 43	下から4～7行目	東漢氏(やまとのあやし) 西文氏(かわちのふみし) 秦氏(はたし)	東漢氏(やまとのあやうじ) 西文氏(かわちのふみうじ) 秦氏(はたうじ)
初	p. 44	2行目	五経博士(ごきょうのはかせ)	五経博士(ごきょうはかせ)
初	p. 48	8行目	豊受大神をまつる内宮	豊受大神をまつる外宮
初	p. 48	12行目	祓(はらい)	祓(はらえ)
初	p. 54	16行目	臣連伴造国造百八十部并公民等本記(おみむらじとものみやっこくにのみやっこもあまりやそとのならびにおおみたからどものもとつふみ)	臣連伴造国造百八十部并公民等本記(おみむらじとものみやっこくにのみやっこもあまりやそとのあわせておおみたからどものもとつふみ)
初	p. 54	下から7行目	600年・602年に新羅征討軍を	600年・602年・623年に新羅征討軍を
初	p. 57	本頁内	山背大兄皇子	山背大兄王
初	p. 58	図	有馬皇子	有間皇子
初	p. 59	最終行	阿部内麻呂	阿倍内麻呂
初	p. 59	下から1行目	蘇我倉山田石川麻呂(そがのくらやまだいしかわまる)	蘇我倉山田石川麻呂(そがのくらやまだのいしかわまる)
初	p. 60	7行目	難波長柄豊碓宮(なにわなががらとよさきのみや)	難波長柄豊碓宮(なにわながらとよさきのみや)
初	p. 60	9行目	班田収受制	班田収授制
初	p. 61	下から6行目	659年	658年
初	p. 61	下から5行目	有馬皇子	有間皇子
初	p. 61	下から2行目	701年8月には～命じられ、	645年には、鐘匱の制～
初	p. 63	4行目	難波から	飛鳥から
初	p. 63	下から11行目	大織官	大織冠
初	p. 65	14行目	導師	道師

『体系的・網羅的 一冊で学ぶ日本の歴史』(初版・二刷) 正誤表

2014/07/07現在

以下の通り、表記に誤りがありました。誠に申し訳ございません。訂正してお詫び申し上げます。

※「該当箇所」は見出し行も含めます。

刷	ページ	該当箇所	【誤】	【正】
初	p.66	2行目	同年即位します。	翌年即位します。
初	p.66	7行目	庚午年籍	庚寅年籍(こういんねんじやく)
初	p.66	下から11行目	新益の京(しんえきのみやこ)	新益京(しんやくのきょう)
初	p.69	12行目	即闕官	則闕の官
初	p.71	7行目	伝馬(でんま)	伝馬(てんま)
初	p.71	下から1行目	椽	椽
初	p.73	8行目	職分田(しきぶでん)	職分田(しきぶんでん)
初	p.77	下から4行目	正丁3人につき	正丁3~4人につき
初	p.82	13行目	西大寺資材流記帳 (さいだいじしざいりゅうきちょう)	西大寺資材流記帳 (さいだいじしざいりゅうきちょう)
初	p.84	5行目	出羽城(でわじょう)	出羽国(でわのくに)
初	p.84	8・11行目	大隈国	大隅国
初	p.85	6行目	宮子(みやし)	宮子(みやこ)
初	p.86	23~26行目	恭仁宮	恭仁京
初	p.88	13行目	阿部内親王	阿倍内親王
初	p.90	20行目	大隈国	大隅国
初	p.97	下から2行目	葛野郡宇太	葛野郡宇太
初	p.99	下から2行目	菅野真道(すがのみみち)	菅野真道(すがののみみち)
初	p.101	6行目	弘仁格式(こうじんきゃくしき)	弘仁格式(こうにんきゃくしき)
初	p.101	11行目	菅原道真によって10世紀半ばに作られました。	11世紀頃に作られました。
初	p.101	14行目	惟本直本	惟宗直本(これむねのなおもと)
初	p.102	17行目	光孝天皇が	光孝天皇の時に
初	p.103	下から7行目	寛平の御遺戒	寛平御遺誠
初	p.104	下から5行目	三善清行(みよしきよつら)	三善清行(みよしきよゆき)
初	p.105	下から4行目	997年には	1000年には
初	p.110	3・4行目	遙任	重任
初	p.119	1行目	金沢柵(かなざわさく)	金沢柵(かねざわのさく)
初	p.123	8行目	院序下文(いんちょうくだしぶみ)	院序下文(いんのちょうくだしぶみ)
初	p.126	6行目	鳥羽院	鳥羽殿
初	p.130	左13行目	(1224年)	(1225年)

『体系的・網羅的 一冊で学ぶ日本の歴史』(初版・二刷) 正誤表

2014/07/07現在

以下の通り、表記に誤りがありました。誠に申し訳ございません。訂正してお詫び申し上げます。

※「該当箇所」は見出し行も含めます。

刷	ページ	該当箇所	【誤】	【正】
初	p.131	左下から7行目	(1467年)	(1467年～1477年)
初	p.131	右下から1行目	南蛮貿易(1549年)	南蛮貿易
初	p.133	13行目	大庭景親(おおばのかげちか)	大庭景親(おおばかげちか)
初	p.134	下から6行目	問注所(もんちゅうしょ)	問注所(もんちゅうじょ)
初	p.140	5行目	17歳になったばかりの	18歳になったばかりの
初	p.141	14行目	九条道兼	九条道家
初	p.143	4行目	順徳天皇	順徳上皇
初	p.146	2・22行目	宝治合戦(ほうち)	宝治合戦(ほうじ)
初	p.148	6行目	騎者三物	騎射三物
初	p.161	8行目	1292年	1293年
初	p.164	6行目	30年もの	26年もの
初	p.168	5行目	直義(なおよし)	直義(ただよし)
初	p.174	10行目	伝奏奉書(でんそうほうしょ)	伝奏奉書(てんそうほうしょ)
初	p.176	14行目	関銭(せきぜに)	関銭(せきせん)
初	p.178	5行目	使節遵行(しせつじゅんこう)	使節遵行(しせつじゅんぎょう)
初	p.180	12行目	1440年	1441年
初	p.182	14行目	肥富(こいずみ)	肥富(こいつみ)
初	p.182	18行目	「日本国王源道義」	「日本国王臣源」
初	p.183	下から8行目	1433年・1451年	1432年・1453年
初	p.185	8行目	10世紀	12世紀頃
初	p.186	1行目	花崎館	花沢館
初	p.186	2行目	武田信弘	武田信広
初	p.189	6行目	官座	宮座
初	p.192	下から9行目	見ては落る涙は	見ても落る涙は
初	p.196	16行目	井関	井堰
初	p.198	2行目	祇園社	祇園社
初	p.198	11行目	撰銭令(えりせんれい)	撰銭令(えりぜにれい)
初	p.201	15行目	殺害し	自害させ
初	p.203	下から3行目	伊豆堀越(ほりこし)	伊豆堀越(ほりごえ)

『体系的・網羅的 一冊で学ぶ日本の歴史』(初版・二刷) 正誤表

2014/07/07現在

以下の通り、表記に誤りがありました。誠に申し訳ございません。訂正してお詫び申し上げます。

※「該当箇所」は見出し行も含めます。

刷	ページ	該当箇所	【誤】	【正】
初	p.204	下から6行目	越後	越前
初	p.209	下から6行目	大友義隆	大内義隆
初	p.214	左下から7行目	貨幣改鑄(1704年)	貨幣改鑄(1695年)
初	p.215	右6行目	『赤蝦夷風雪考』	『赤蝦夷風説考』
初	p.215	左11行目	化成時代	化政時代
初	p.215	左下から7行目	八月十八日の変	八月十八日の政変
初	p.215	左下から3行目	徳川慶喜将軍就任(1867年)	徳川慶喜将軍就任(1866年)
初	p.216	8行目	この戦いの直後から	その後
初	p.217	下から8行目	安宅船(あたか)	安宅船(あたけぶね)
初	p.218	10行目	正親町親王	正親町天皇
初	p.220	4行目	家康を孤立させることに成功しました。	また家康とも和睦し、家康は次男を秀吉の養子に送りました。
初	p.220	下から9行目	1587年には全国の戦国大名に	1585年、九州の戦国大名に
初	p.224	下から1行目	宣教師20人と信者6人	宣教師と信者の26人
初	p.226	14行目	有田焼を伝えたという	有田焼の生みの親である
初	p.231	下から1行目	大番・小姓番・書院番の3つがありました。	大番・小姓組番・書院番などがありました。
初	p.236	下から6行目	1872年に廃止	1867年に廃止
初	p.250	下から8行目	1609年	1669年
初	p.259	下から1行目	220年ぶり	221年ぶり
初	p.261	下から8行目	4500万両	約500万両
初	p.261	下から7行目	作られました	計画されました
初	p.262	4行目	11月25日	11月23日
2	p.263	下から9行目行目	海舶互市新令	海舶互市新例
初	p.271	9行目	1697年に結成され、株仲間として公認されたのは1813年のことです。	輸送路の保全と権益の確保を目的として、1694年に結成されました。
初	p.271	12行目	1841年のことです。	1784年のことです。
初	p.276	6行目	碓井関	碓氷関
初	p.281	6行目	1721年、質流れ禁止令	1722年、質流れ禁令
初	p.282	7行目	文字金銀(もんじ)	文字金銀(ぶんじ)
初	p.285	12行目	明和五匁銀(めいわごもんぎん)	明和五匁銀(めいわごもんめぎん)
初	p.290	下から12行目	1775年には三原山が	1777年には三原山が

『体系的・網羅的 一冊で学ぶ日本の歴史』(初版・二刷) 正誤表

2014/07/07現在

以下の通り、表記に誤りがありました。誠に申し訳ございません。訂正してお詫び申し上げます。

※「該当箇所」は見出し行も含めます。

刷	ページ	該当箇所	【誤】	【正】
初	p.291	2行目	2600～2700万人前後	3000万人前後
初	p.300	下から6行目	景清(かげきよ)	景元(かげもと)
初	p.301	11行目	光格天皇は前年に死んだ上皇兼仁への漢風諡号として約900年近い中断の後に「天皇」と呼ぶことを復活させたのです。	上皇兼仁の死後、漢風諡号として「光格天皇」とおくられ、約900年近い中断の後に「天皇」と呼ぶことが復活しました。
初	p.306	4行目	東インド艦隊司令官	東インド艦隊司令長官
初	p.308	11行目	1854年、日露和親条約	1855年、日露和親条約
初	p.318	4行目	民兵隊(奇兵隊)	武士・町民・農民からなる奇兵隊
初	p.318	6行目	民兵隊	諸隊
初	p.326	左4行目	徴兵告諭(1873年)	徴兵告諭(1872年)
初	p.326	左20行目	秩父事件(1882年)	秩父事件(1884年)
初	p.330	4行目	薩長の兵	薩長土の兵
初	p.330	6行目	1877年	1871年
初	p.332	9行目	また、同年、陸軍は	また、翌年、陸軍は
初	p.332	下から8行目	1873年、邏卒制度を設け	1871年、邏卒制度を設け
初	p.332	下から8行目	同年、内務省と	1873年、内務省と
初	p.336	12行目	翌年には関所・伝馬制度・津留を廃止し、1872年には助郷役を廃止しま	同年には関所を廃止し、1872年には助郷役を廃止しました。
初	p.338	8行目	万国電信連合	万国電信条約
初	p.340	下から9行目	津田塾女子大学	津田塾大学
初	p.341	下から8行目	藩主尚泰	藩王尚泰
初	p.342	下から7行目	内地	内治
初	p.344	7行目	3000名	1万2000名
初	p.345	下から11行目	1871年1月	1874年1月
初	p.351	3行目	3日間	9日間
初	p.351	6行目	8人が処刑	数人が処刑
初	p.351	7行目	3600人	4000人
初	p.353	12行目	慶応大学	慶応義塾
初	p.353	15行目	日本帝国憲法草案	日本帝国憲法
2	p.354	12行目	井上馨	井上毅
初	p.360	下から2行目	主権線(国境と利益線=朝鮮付近の防衛)	主権線(国境)と利益線(朝鮮付近)の防衛

『体系的・網羅的 一冊で学ぶ日本の歴史』(初版・二刷) 正誤表

2014/07/07現在

以下の通り、表記に誤りがありました。誠に申し訳ございません。訂正してお詫び申し上げます。

※「該当箇所」は見出し行も含めます。

刷	ページ	該当箇所	【誤】	【正】
初	p.362	下から8行目	この日、朝鮮で甲午農民戦争	朝鮮で甲午農民戦争
初	p.367	下から4行目	酒税	酒造税
初	p.380	下から5行目	1897年	1891年
初	p.381	下から7行目	山室軍平が軍隊組織によるキリスト教伝道と慈善事業を進める救世軍を作りました。	軍隊組織によるキリスト教伝道と慈善事業を進める救世軍のライト大佐が来日して日本救世軍を作り、山室軍平が日本人初の士官となりました。
初	p.381	下から5行目	キリスト教婦人矯風会	東京婦人矯風会
初	p.382	6行目	夜業	深夜業
初	p.382	下から2行目	1926年になっても夜業禁止は実行されず、1929年によりやく廃止されたのです。	1926年になっても深夜業禁止は実行されず、1929年の改正法によりやく実施されたのです。
初	p.383	下から1行目	済物浦条約(さいもつほ)	済物浦条約(さいもっほ)
初	p.384	下から1行目	1885年	1884年
初	p.385	5行目	「斥倭斥洋」	「斥倭洋倡義」
初	p.385	6行目	崔濟愚(さいさいぐ)	崔濟愚(さいせいぐ)
初	p.390	下から8行目	日本はクーデターをおこし、	日本軍は景福宮を占領し、
初	p.398	12行目	第2回万国平和大会	第2回万国平和会議
初	p.401	下から1行目	その内容は、①陸軍はロシア・フランスを仮想敵国とし	その内容はロシア・アメリカ・フランス・ドイツを仮想敵国とし、①陸軍は
初	p.402	下から9行目	1912年	1911年
初	p.405	6行目	準与党して	準与党として
初	p.405	14行目	獲得氏すると	獲得すると
初	p.408	下から15行目	社会民主党	ロシア社会民主労働党
初	p.412	下から5行目	1916年に	1918年に
初	p.420	最終行	平塚雷鳥	平塚らいてう
初	p.421	6行目	山川菊枝	山川菊栄
初	p.421	下から2行目	シベリア出兵	シベリア撤兵
初	p.422	1行目	同年9月1日	同年9月2日
初	p.440	下から6行目	西藏(チベット)民族・回(ウイグル)民族	朝鮮民族・日本民族
初	p.440	下から2行目	9月、日	9月15日
初	p.442	9行目	中佐以上の中堅将校	中佐以下の現役将校

『体系的・網羅的 一冊で学ぶ日本の歴史』(初版・二刷) 正誤表

2014/07/07現在

以下の通り、表記に誤りがありました。誠に申し訳ございません。訂正してお詫び申し上げます。

※「該当箇所」は見出し行も含めます。

刷	ページ	該当箇所	【誤】	【正】
初	p.443	2行目	小沼正(こぬまただし)	小沼正(おぬましよう)
初	p.456	3行目	企画局	企画庁
初	p.456	10行目	国会でのこの法の審議中に民政党の代議士斎藤隆夫が質問した内容に対し、陸軍中佐佐藤賢了が	この法案について、委員会で答弁を行っていた陸軍の佐藤賢了中佐が、宮脇長吉の野次に対し、
初	p.456	下から8行目	輸出入品臨時措置法	輸出入品等臨時措置法
初	p.458	12行目	有馬八郎	有田八郎
初	p.460	下から9行目	上位下達	上意下達
初	p.461	2行目	落窪会談	荻窪会談
初	p.461	13行目	1941年3月	1941年4月
初	p.467	下から1行目	「決戦教育非常措置要綱」	「決戦教育措置要綱」
初	p.469	7行目	泰面(泰=タイ・面=ビルマ)	泰緬(泰=タイ・緬=ビルマ)
初	p.469	10行目	(抵抗人民軍)	(抗日人民軍)
初	p.483	下から2行目	1946年1月	同年10月25日
初	p.488	7行目	前蔵相来栖赴夫	経済安定本部長官栗栖赴夫
初	p.491	下から4行目	松川駅での	松川駅付近での
初	p.495	11行目	1950年11月	1950年10月末
初	p.499	7行目	1954年5月	1954年6月
初	p.500	12行目	議席の3分の1	議席の3分の1以上
初	p.503	9行目	1961年11月	1961年1月
初	p.508	12行目	岩戸景気(1959年～	岩戸景気(1958年～
初	p.509	15行目	いざなぎ景気	いざなぎ景気
初	p.512	2行目	トロント	オタワ
初	p.513	下から12行目	1984年訪米し	1983年訪米し
初	p.514	12行目	宇野宗祐	宇野宗佑
初	p.515	下から1・9行目	政治資金規制法	政治資金規正法
初	p.517	4行目	1998年1月	1998年7月
初	p.519	下から6行目	10原則	平和十原則
初	p.521	4行目	国王ホメイニ	最高指導者ホメイニ
初	p.524	右2行目	宇野宗祐	宇野宗佑

『体系的・網羅的 一冊で学ぶ日本の歴史』(初版・二刷) 正誤表

2014/07/07現在

以下の通り、表記に誤りがありました。誠に申し訳ございません。訂正してお詫び申し上げます。

※「該当箇所」は見出し行も含めます。

刷	ページ	該当箇所	【誤】	【正】
初	p.525	右10行目	大津事件	「お」行 p.525の左14行目に
初	p.526	左12行目	海軍軍縮条約	「か」行 p.525の左下から2行目に
初	p.526	右9行目	騎者三物	騎射三物
初	p.527	左8行目	公卿	公卿
初	p.529	右17行目	後三年の役	「こ」行 p.528右下から7行目に
初	p.530	左下から4行目	李鴻章	「り」行 p.541の左8行目に
初	p.531	左5行目	寺社奉行	「し」行 p.530の左下から3行目に
初	p.534	4行目	塘沽停戦協定— 456	塘沽停戦協定— 450
初	p.535	右下から3行目	人足寄場	「に」行 p.536の右10行目に
初	p.537	左下から5行目	国民精神総動員運動	「こ」行 p.528の右14行目に
初	p.539	左下から1行目	皇親政治	「こ」行 p.528の左16行目に
初	p.540	右2行目	山背大兄皇子	山背大兄王

※なお『体系的・網羅的 一冊で学ぶ日本の歴史』【初版】に限りまして、訂正を反映しました【第2刷】以降のものと無償で交換させていただきます。交換をご希望のお客様は、その旨と、お名前・ご住所・お電話番号をお書き添えのうえ、【初版】を弊社にお送りくださいませ。弊社より【第2刷】以降のものをお送りさせていただきます。

《弊社への送付方法》

ゆうメールにて着払いでお送りください。

1. 封筒に弊社の住所を記入

(〒162-0832 東京都新宿区岩戸町12レベッカビル ベレ出版編集部行)

2. お客様のお名前・ご住所(郵便番号含む)を必ず記入

3. 切手を貼らずに赤字で「着払い」、封筒左下に「ゆうメール」と記入

4. 中身が見えるように封筒の右肩を切り取ってください

5. ポストに投函するか、郵便局にお持ちください

